



## 「おらが学校」の地域相談員

沼津市青少年健全育成地域相談員総括 内田卓雄

コロナ禍で活動も研修会もなく名ばかりの地域相談員の1年だった。学校は、感染防止策を念頭に、授業までも含む全ての教育活動の「今まで」を見直し、各校各々に「新た」を創り出すようになった。我が校区原中の体育大会でも、子供たちが感染対策を講じたプログラムを考えて実施したとか。その一方、学校は私どもも含む外部との接触を可能な限り避けた。当然である。

昭和58年に発足したこの地域相談員制度は、青少年非行が第3次のピークであった頃、学校と地域が一体となって青少年を健全に育成しようと生まれたが、青少年の生徒指導上の諸問題は今や見えにくい非社会的行動へと移っている。令和元年度の児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査では、いじめは12.6%、同重大事態件数も20.1%増加。生徒間暴力も大幅に増加、特に小学校が顕著だという。不登校も7年連続で増加（前年度比で10.2%の増）。だが、それらは全国の統計数値で、各地域・学校等の実態ではない。その各地域・学校等も一様ではなく、一律では捉えられないし、数値では語れない問題が多い。だから、私どもはデータの向こうの実際のところを「嗅い」でいたが、それは学校と密になってこそ可能なことだった。コロナ禍はその密を許さずで、実際がさらに見えにくくなった。それがこの1年だった。

本年度から小学校では学習指導要領が完全実施され新教科書での授業が始まっている。2030年社会、子供たちの65%は現在存在しない職業に就くと言われ、1/3は65歳以上の高齢者になり、生産年齢人口は53.9%まで低下すると言われている。変化が激しく予測困難な時代を生き抜く資質として自立・協働・創造が掲げられ、「主体的、対話的で深い学び」で育むのだという。中学3年生の30年後は社会や地域を支える中堅層。そういう意味では、教育は将来の社会づくりを担っている。社会は地域でもある。学校が先か地域が先かは分からぬが、双方、必然的に統廃合に向かう。これを見通して、「学校運営協議会制度」のもと、「おらが学校づくり」に地域創生の活路を見だし、学校・地域総掛かりの「共育」に歩み始めた地域もあるが、協議会の運営には、教育に対する豊かで深い識見を有し、子供愛を軸にして熟議・協働できる人が必要だ。考えてみれば、相談員はずっと地域の中で青少年健全育成を通して「おらが学校」に関与し続けてきた。コロナ後も、地域の人として、また、学校教育の今とこれからを語れる人としてより頼りにされよう。今を見つめ「変化」を捉え、学び続けるのはまこと、しんどいことだが。

# わたしの主張

「たより10月号」に引き続き、令和2年度「沼津市わたしの主張大会」において入選した作品を紹介합니다。

## 偏見の壁を乗り越えて

沼津市立愛鷹中学校 3年 藤井 梓

(あっ、こっちに来た。)と逃げていく私。そこには寂しそうに立たずむおばあさんの姿がありました。

数年前、私の親戚には耳に障害を持ったおばあさんがいました。おばあさんは聴力がないため、うまく話すことができませんでした。話す機会が訪れても何を言っているのか、どういう言葉を返せばいいのか分かりませんでした。私はそれが嫌でいつも逃げていました。私はおばあさんとの間に壁を作っていたのです。

私は時々、家族で祖母の家に遊びに行きます。祖母の家には耳の不自由なおばあさんが祖母と一緒に暮らしていました。ある時、私が妹とバレーボールをして遊んでいる時のことです。私の後ろから、ふとおばあさんの声が聞こえてきました。とても小さな声でした。

「どうせ、聞き取れないだろう。」私はいつものように気付いていないふりをしました。すると、おばあさんがだんだん私に近づいて来ました。おばあさんが何度も繰り返す言葉は「どうぞ」という言葉でした。声が聞こえた方を見みると、おばあさんが手におかしを持って立っていました。おばあさんは私たちにおかしを渡そうとしていたのです。私はおかしを受け取り、「ありがとう」と小さな声で目をそらして言いました。気付いていないふりをしていた自分が恥ずかしくなりました。うまく話すことができないだけ、耳が聞こえないだけで、私たちと同じくらい話したいこと、聞きたいことがおばあさんにもあるのではないかと思います。

おばあさんが私に話しかけようとしてくれていたのに逃げていた私。その時は、上手に話すことができないならば、初めから聞こえないふりをしたほうが良いと思っていました。しかし、おばあさんの一生懸命通じ合おうとする気持ちに考え方が変わりました。話しかけてくれた時はしっかりと話を聞いてみようと考えられるようになりました。

初めは、おばあさんが話していることが分からず、困ることもありました。それでも次第に、話していることが聞き取れるようになっていきました。言葉を返

すときは、口をゆっくり、はっきりと動かすことを心がけました。そうしていると、前よりもおばあさんの笑顔を見ることが多くなりました。前までそれほど笑うことのなかった、おばあさんの笑顔を見られたことを本当に嬉しく思いました。私はおばあさん以外の障害を持った人たちが、少しでも明るくなってほしいと思うようになりました。私はおばあさんとの出来事を通して学んだことが二つあります。

一つ目は、障害を持っていても私たちと同じように生活しようと頑張っている人がいることです。目が見えなくても、耳が聞こえなくても、手足が不自由でも、私たちと同じように一生懸命生活しています。これを私たちは支えるべきです。

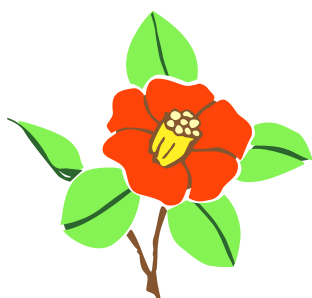
二つ目は、障害を持つ人との距離は私たちの考え次第でいくらでも縮められるということです。距離ができれば、困っている人がいることに気付かせません。お互いを知ろうと歩み寄ることで、私たちはどのような立場の人とも心を通わせることができます。と思います。

「ささいな違いを乗り越えて、どんな人とも私たちはつながることができる」今は亡きおばあさんは大事なことを私に教えてくれました。

障害を持った人と私たちでは、違う点がたくさんあります。しかし、そこで距離や壁を作っているのは「違い」ではありません。それは障害を持った人たちに対する偏見の目です。私たちは心を通わすことができる信じ、自分たちから行動することが壁を乗り越える第一歩なのです。私たちが働きかければ、大きく見える違いも、とても小さな違いに変わっていきます。そうすれば、寂しさを感じている人も笑顔になれます。困っている人も助けてあげられます。そのような温かな社会を目指し、私は本当の意味で偏見の壁を越えられるように心がけたいと思います。



# 面接相談



◎非行・不登校・発達・子育て・進路・対人関係など  
 青少年に関する面接相談。  
 ◎相談および申し込み受付時間：  
 午前9時～午後5時 月～金曜日（祝祭日を除く）  
 ◎相談申し込み：Tel.951-3440

## 令和2年10・11・12月の状況

各月の新規相談件数、相談ケース数、延べ相談回数は以下のとおりでした。

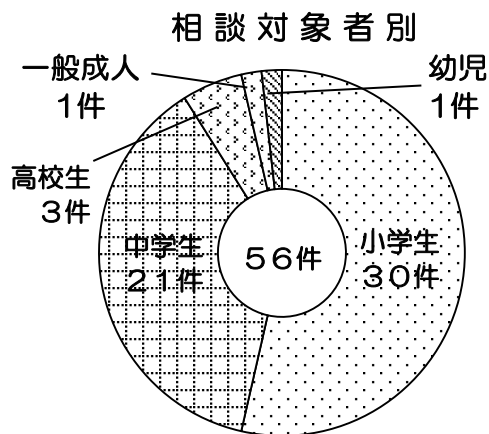
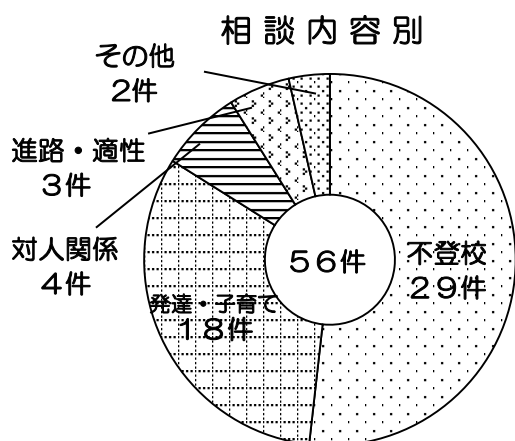
### 1 各月の新規相談件数（相談内容別）

	非行	不登校	発達・子育て	進路・適性	対人関係	その他	合計
10月	0	4	5	0	0	1	10
11月	0	7	2	2	0	0	11
12月	0	3	2	1	0	0	6

### 2 各月の新規相談件数（相談対象者別）

	幼児	小学生	中学生	高校生	少年	一般成人	合計
10月	0	6	3	0	0	1	10
11月	0	7	3	1	0	0	11
12月	1	3	2	0	0	0	6

### 3 4月から12月までの新規相談受付状況



#### 4 4月から12月までの相談ケース数※年度における相談者1人を相談1ケースとする

	非行	不登校	離・子育て	進路・適性	対人関係	その他	合計
男	0	39	21	2	0	2	64
女	0	37	8	3	5	0	53
合計	0	76	29	5	5	2	117

#### 5 4月から12月までの延べ相談回数

	面接	訪問	合計
男	744	0	744
女	454	0	454
合計	1,198	0	1,198

#### 6 はばたき活動の様子

- 10/ 6(火)チャレンジランキング2020 (3人)  
 10/21(水)千本ウォーキング (4人)  
 11/10(火)塗り絵に挑戦 (6人)  
 11/25(水)買い物ツアーに出かけよう (5人)  
 12/ 2(水)クリスマスリース作り (6人)  
 12/16(水)公園で遊ぼう (7人)

今年度、9月から再開したはばたき活動ですが、10～12月も内容を工夫し月に2回ずつ実施することができました。

内容は、センター内での活動と徒歩で行ける範囲での活動です。11月の買い物ツアーは家の人に頼まれた物を買ひ、12月は家に飾るクリスマスリースを作りました。きっとセンターの活動が各家庭で話題になったことと思います。

回を重ねるごとに仲間同士の関わりが自然になり、大人を介さずに楽しく話しながら一緒に活動できるようになっています。このようにして集団活動での自信を得ていくのだと強く感じています。

#### 7 相談指導学級の様子

新型コロナウイルス感染症拡大防止対策の影響で2学期の開級日が例年より早まり、8月18日(火)から12月25日(金)までの90日間となりました。1学期途中に2人、2学期に1人増え、12月の在籍人数は中学生11人となりました。(中3生10人、中1生1人)

子供たちは担当と相談しながら通級のめあてや基本的な通級の日数・時間を決め、自分の立てた計画に基づいて活動しました。1日平均の出席人数は4～5人でしたが、創作活動、ソーシャルスキルトレーニング、進路学習会がある時には8人が出席する日もありました。体験活動は個人ごとに行う創作活動のみで、塗り絵や紙工作、消しゴムはんこ作りを月に1回行いました。「細かいところが難しかったけれど楽しかった」「うまくできないと思っていたけれど、ちゃんとできて良かったです」という感想でした。

また、ソーシャルスキルトレーニングは、ストレス対処法やリフレーミングを学習しました。「新型コロナが流行している今の生活で大切なことが分かって良かったです」「自分の良いところをみんながたくさん書いてくれたので嬉しかったです」と振り返り、学習を深めました。

3学期は1月5日(火)から3月19日(金)までの51日間です。これまでの成長を確認したり、次の目標を立てたりする大切な時期です。中学3年生にとっては進路決定という大きな節目にもなります。引き続き子供たち一人一人に寄り添いながら支援していきます。

# 電話相談

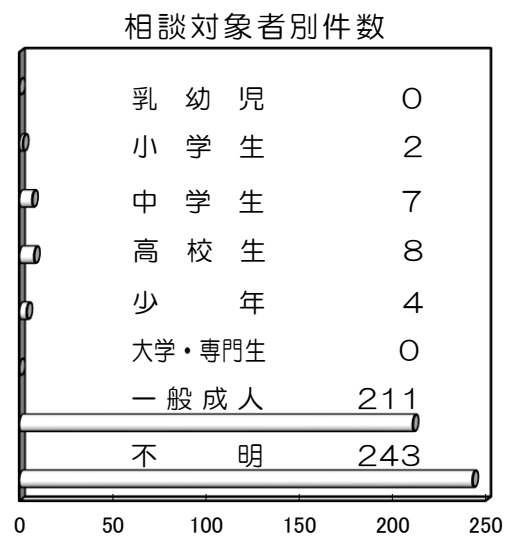


◎非行・不登校・発達・進路・対人関係など青少年に関する相談。  
 ◎相談時間：  
 午前10時～午後7時 月～金曜日(祝祭日を除く)  
 ◎愛称：やまびこ電話 951-7330

## 令和2年10・11・12月の状況

10月には210件、11月には168件、12月には97件の相談が寄せられました。  
 (前年10月：343件、前年11月：261件、前年12月：222件)

### 1 10・11・12月の相談状況



### 2 令和2年度の電話相談受信件数状況

総件数 2,372件 (前年同期2,668件)

#### (1) 相談内容別

	非行	不登校	発達	性	進路・適性	対人関係	学校生活	問合せ他	無言
件数	0	4	7	31	1	17	7	1,093	1,212

#### (2) 相談対象者別

	乳幼児	小学生	中学生	高校生	少年	大学・専門生	一般成人	不明
件数	0	8	9	16	5	0	1,091	1,243



# たの 補導を愉しむ

第一地区 少年補導委員 増田幹夫

「補導を愉しむ」と言うと何か不謹慎であらぬ誤解をされてしまいそうですが、事実、私は今、「補導活動」を通じて様々な「出会い」を愉しんでいます。

そもそも地域の子供たちとの出会いはPTA活動がそのスタートでした。思い返せばそこで先生方や保護者の方々とたくさんの出会いをし、子供たちの生活の様々な課題と一緒に取り組んできたことが貴重な体験となり、愉しみとなったのかもしれない。

PTAを卒業後、縁あって補導活動に参加させていただくことになりました。そこではPTA活動をさらに超えた、普段では触れること知ることのできない行事や出来事にも広く深く関わるようになりました。そして、今私は、子供たちの安心安全に真剣に取り組む多くの人たちとの、世代、年齢を超えた出会いを愉しんでいるのです。

以前は補導というと非行と立ち向かう最前線のイメージもあったかもしれませんが、現在は社会も穏やかになって、実際の我々のパトロール活動においても緊張を強いられるような場面はまずありません。常に子供たちの目線に立ち、道や公園、店舗等で出会ったならば、できる限り優しく声をかけることを大切にしているだけなのです。しかし、そうしたやりとりの中から、子供たちが見守られていることを実感して、安心感を持ってくれるのだと確信しました。つまり私の目指す補導活動は、少年たちの非行と対峙することではなく、街中にあふれる非行の誘惑からいかに守っていくかということにあります。まさに「見守り補導」なのだと思います。

青少年補導委員としていろいろな活動に参加し、15年以上が経ちました。毎年行われる研修、講演からも、親として、人としての生き方、接し方を学ばせていただいています。これからも地道に活動を続けることで、出会いを愉しみながら少しでもお役に立つことができたらと思っています。そして、この補導活動をより多くの方が理解し参加していただけることを願ってやみません。出会いは楽しいですよ。

## 1 少年補導委員の参加人数・補導回数・補導状況（10～12月及び累計）

	参加人数						回数				状況	
	市 職 員	教 員	補 導 委 員 代 表	地 区 代 表	警 察	補 導 委 員 区	計	午 前	午 後	夜 間	計	の 不 良 行 為 等 の 確 認
10月	13	9	29	0	261	312	0	14	34	48	51	205
11月	1	0	5	0	269	275	0	12	32	44	2	122
12月	0	0	0	0	81	81	0	5	11	16	0	9
合 計	14	9	34	0	611	668	0	31	77	108	53	336
4月から の累計	33	30	61	1	1,345	1,470	3	60	165	228	146	752

\*新型コロナウイルス感染症対策のため、11月11日から12月31日までの中央街頭補導を中止しました。また、同期間、地区補導を中止した地区もありました。



## 2 10月～12月の街頭補導少年の学職別状況（中央補導・地区別補導）

県からの依頼を受け、12月に青少年を取り巻く社会環境実態調査及び県内一斉冬季少年補導を縮小して実施しました。新型コロナウイルス感染第三波到来の時期でしたので、各地区でも細心の配慮をして活動してくださいました。御協力ありがとうございました。外出自粛の動きはさらに強まり、補導に関わる青少年の数は昨年同時期に比べ半数ほどでした。12月に引き続いて1月も中央補導は中止し、センター職員のみが巡回する形をとっております。

学 職 別 区 分		性別	小学生	中学生	高校生	その他学生	有職少年	無職少年	計	四月からの 累計の
行 為 種 別	飲 酒	男							0	0
		女							0	0
	喫 煙	男							0	0
		女							0	0
	薬 物 乱 用	男							0	0
		女							0	0
	夜 間 は い か い	男			1	2			3	11
		女			1				1	3
	不 良 交 友	男							0	0
		女							0	0
	怠 学 ・ 怠 業	男							0	0
		女							0	0
	ゲームセンター入場	男		3	3	18			24	58
		女		1	2	17			20	60
	パチンコ店入場	男							0	0
		女							0	0
カラオケ店入場	男							0	0	
	女							0	0	
自転車の暴走行為	男				1			1	1	
	女							0	0	
自転車の二人乗り	男							0	2	
	女							0	0	
自転車の無灯火	男		1					1	2	
	女							0	0	
危 険 な 遊 び	男							0	0	
	女							0	0	
そ の 他	男		1					1	6	
	女				2			2	3	
計		男	5	3	20	2	0	0	30	80
		女	1	2	20	0	0	0	23	66
男 女 合 計			6	5	40	2	0	0	53	146

法令違反・ ぐ犯行為に 関する連絡 ※	家庭・学校等	男							0	0
		女							0	0
	他 機 関	男							0	0
		女							0	0
男 女 合 計			0	0	0	0	0	0	0	0

※ぐ犯行為……将来、犯罪に発展するおそれのある行為

愛 の 声 か け 運 動	男	65	75	51				191	386
	女	59	49	37				145	366
男 女 合 計		124	124	88	0	0	0	336	752

## 「高校生による落書きクリーン作戦」

沼津市では、青少年健全育成事業の一環として、高校生による落書きクリーン作戦を実施しています。これは、市内の公共の場の落書きを高校生の手で綺麗にすることで、環境浄化の大切さを伝え、広げていくことを目的としています。20年目になる今年は、飛龍高等学校柔道部の生徒さんが中心になって、八幡神社内の防災倉庫に描かれた落書きを消すことと、遊具を塗り直す作業をしました。高校生たちは、慣れない作業に最初は戸惑っていましたが、次第にコツを覚え、持ち前のチームワークを発揮して協力しながら進めることで、とても綺麗な場所になりました。以下に、代表生徒さんの感想文を掲載します。

### 「落書きクリーン作戦に参加して」

飛龍高等学校 2年 萱間 勇清斗

私たち柔道部は、11月3日に行われた落書きクリーン作戦に参加しました。会場である八幡神社に着き、その状況に驚きました。そこには塗装がはげ、錆付いた遊具に、落書きだらけの倉庫がありました。けっして子供たちが遊ぶのに安全な環境だとは思えず、私は落書きクリーン作戦を成功させようと思いました。

そして、落書きクリーン作戦が始まりました。私たち2年生は、倉庫の落書きされた部分を削り、全体を塗装することが仕事でした。削る作業の時、紙やすりとグラインダーという機械を使うのですが、グラインダーはとても重く、持つだけで一苦労でした。私がおのグラインダーを使い、長時間作業をしていると、仲間が「代わろうか。」と声を掛けてくれました。私は、ありがたいと思い、紙やすりの作業に移りました。落書きを削っているときに、ふと周りを見ると、仲間同士で声を掛け合っている姿が目に入りました。みんな「神社を綺麗にしたい」と、心が一つになっていると感じて、私もさらに頑張ろうと思いました。落書きクリーン作戦が終わったときには、私たちは、「社会に貢献できた」という満足感と、「自分たちが普段生活を送っている地域を綺麗にできた」という達成感を得ることができました。

この経験を活かし、これからも仲間と協力して助け合い、このような行事以外でも、自分たちが暮らしている地域の汚れや廃棄物などを綺麗にすることなど、社会に貢献していきたいと思います。

#### 【参加者】

萱間勇清斗、秋山龍杜、片岡 裕、  
久保田希禪、甲田真吾、小島彰悟、  
チャムルスウク、寺田 航(以上2年)  
四條結都紀、佐野牧葉、中山七海、  
田中公介、秩父拳斗、清水力輝  
酒巻幸之丞、小野悠斗、森 帝星、  
新井啓斗、勝又 柊、岸 風太、  
金子瑞季、森 皇星(以上1年)



## 青少年教育センターの活動予定 (2・3月の主な活動)

※天候による変更あり

相談指導学級	2月18日(木)	創作活動
	3月11日(木)	創作活動
はばたき活動	2月16日(火)	美術館見学
	3月5日(金)	ソーシャルスキルトレーニング
補導関係	2月19日(金)	補導委員会代表者会⑤